

人形劇まつい

絵本がとびだしうごきだあ



イベント レポート



■とき 平成24年8月19日(日) 午前10時～12時半

■ところ 東図書館2階 視聴覚ホール



261人もの方が

来てくださいました!



うら・ルー「となりのなめき」



ワークショップで作るのと同じ人形を使い、人形劇に初挑戦。表情や服装まで原作に忠実。初めてを感じさせない程スムーズに観客を引き込んでいた。



ら劇団の共演

つくしんぼ「おむすびころりん」



おじいさんとおばあさんの動きや美濃加茂弁に会場からはどっと笑いが起こる。つくしんぼさんオリジナルの世界は幅広い世代を夢中にさせた。



おおきなきsakahogi 「おこきなぼうしやさん」

人間を利用した“ぼうしやさん”が気になって何度も見てしまう。劇の前に読んだ絵本や様々な帽子など、作りが細やか。動物たちや歌に癒されるひとときだった。



はらぺこ「はらぺこあおむし」

ペーパーサートと吹き込み音声による演出は独特な雰囲気、人々を別空間へと誘う。大きなチョウが飛び出すラストシーンでは思わず歓声があがった。

しゃぼんだま 「赤おに青おに」「早口ことば」



劇が終わったあとも、早口ことばを唱える子どもたち発見。“お笑い”を散りばめた劇は現代っ子の心を掴んだもよう。くるくる動くおにたちもかわいい。

劇団によって人形の種類や演出方法が違い、これら全てが手作りと思うと、それぞれの趣向にため息が出る。あっという間に5つの劇が終わった。

原作本の展示



各劇団のプロフィールと、劇団の方々がこれまでに公演してきた劇の原作本を展示。

劇を通して本にも興味を持ってもらえたらという思いから行ったわけだが、何冊か借りて頂けた。劇と原作を比べてみるのも面白いだろうし、劇とはまた違った魅力を感じられるのではないだろうか。





ワークショップ

～人形作り体験～



観劇後は、2部屋に分かれてウサギや子どもの人形作りを体験。劇開始前に限定50名で整理券を配り、材料セットと交換した。



今度は演じる劇になって人形たちと遊んでね!



子ども作りの部屋では髪の毛を付けるのに苦戦。



うさぎ
めいちゃん



親子で協力したい。



みんなー
かわいかったら☆

整理券を貰えなかった子には、家で作れる簡単な“まるがみにんぎょう作りセット”を配った。(約50個)



完成見本



ご参加ありがとうございました



おつかれさまでした



最後に、人形を持って全員集合！舞台裏ではこんなにたくさんの方が人形を動かしてみえました。



劇団のみなさんと司会の榊間さん。たのしい時間をありがとうございました。

図書館以外でも、様々なところで活動されています。

ぜひ、今後も人形劇を観に行こう！

